

Mizuho Daily Market Report

2023/1/18

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	128.73	128.12	▲0.46	▲4.14
EUR	1.0828	1.0788	▲0.0034	+0.0055
AUD	0.6963	0.6988	+0.0033	+0.0099
SGD	1.3222	1.3202	▲0.0010	▲0.0116
CNY	6.7693	6.7719	+0.0337	▲0.0076
MYR	4.3279	4.3258	+0.0085	▲0.0467
THB	33.05	33.11	+0.13	▲0.42
IDR	15167	15165	+120	▲408
PHP	54.84	54.83	+0.24	▲0.05
INR	81.77	81.77	+0.15	▲0.02

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.548%	+4.4 bp	▲7.1 bp
日本(10年)	0.524%	▲0.3 bp	+1.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.091%	▲8.4 bp	▲21.7 bp
オーストラリア(5年)	3.335%	▲1.0 bp	▲14.0 bp
シンガポール(5年)	2.809%	+3.9 bp	+1.6 bp
中国(5年)	2.715%	▲1.7 bp	+1.6 bp
マレーシア(5年)	3.788%	▲0.6 bp	+2.0 bp
タイ(5年)	1.949%	+2.5 bp	+2.9 bp
インドネシア(5年)	6.446%	▲2.5 bp	▲3.8 bp
フィリピン(5年)	5.893%	▲4.6 bp	▲54.0 bp
インド(5年)	7.179%	+1.1 bp	+0.4 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,910.85	▲1.1%	+0.6%
N225(日本)	26,138.68	+1.2%	▲0.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,174.33	+0.4%	+2.9%
ASX(オーストラリア)	4,294.53	▲0.2%	+2.1%
FTSTI(シンガポール)	3,280.51	▲0.1%	+0.5%
SSEC(中国)	3,224.25	▲0.1%	+1.7%
KLSE(マレーシア)	1,499.38	+0.4%	+1.0%
SETI(タイ)	1,681.04	▲0.2%	▲0.6%
JKSE(インドネシア)	6,767.340	+1.2%	+2.2%
PSE(フィリピン)	7,014.04	▲0.4%	+3.8%
SENSEX(インド)	60,655.72	+0.9%	+0.9%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	277.22	+0.5%	+3.4%
金	1,908.69	▲0.4%	+1.7%
原油(WTI)	80.18	+0.4%	+6.7%
銅	9,282.99	+2.1%	+4.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	126.20	—	129.60
EUR/USD	1.0750	—	1.0920
AUD/USD	0.6910	—	0.7030
USD/SGD	1.3080	—	1.3270
USD/CNY	6.6180	—	6.7630
USD/MYR	4.1100	—	4.3450
USD/THB	32.05	—	33.35
USD/IDR	14750	—	15280
USD/PHP	54.15	—	55.15
USD/INR	80.90	—	81.85

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は128円台半ばでオープン。18日の日銀政策決定会合結果を前にした持ち高調整の動きから、円売りが強まりドル円は一時129円台まで上昇。円売り一巡後は時間外米長期金利の上昇一服もあり、ドル売りが強まる中でドル円は値を戻し、その後は128円後半の狭いレンジで推移しそのまま海外時間へ渡った。アジア通貨は翌日に日銀政策決定会合を控え、様子見ムードが強く、方向感にかける値動きとなった。

海外時間のドル円も方向感のない値動きが継続。NY朝方は1月NY連銀製造業景況指数が予想以上に悪化し、ドル売りがやや強まり128円台前半まで下落する。その後一旦128円台半ばまで戻す局面もあったが、ECBが次回2月の50bpから、3月は25bpに利上げ幅縮小を検討しているとのヘッドラインが伝わったこと等でユーロ円が大幅に下落する動きにドル円も127円台まで下落。その後は米金融機関の弱い決算発表を受けて軟調な株式市場がやや下げ渋る展開に128円台半ばまで戻す局面もあったが、引けにかけて再び下落し、128円台前半でクローズ。

【金利】

米金利は小幅にイールドカーブがスティープ化。指標発表が少ないなか、朝方発表の1月NY連銀製造業景況指数が予想比弱めの数字となったことで、発表後は債券買いが強まったものの、買いが一巡すると、引けにかけて売り戻しが見られた。中期ゾーンでは、ECBの利上げのペース縮小観測などから買い優勢で一日を終えている。

【予想】

本日は注目の日銀金融政策決定会合。政策変更なしがメインシナリオながら、イールドカーブの歪みが顕在化している状況下、更なる修正への警戒感が意識されている状況。現状維持の結果がどうしても発表後に値動きが大きくなる可能性には注意したい。

【本日の予定】

(日本) 11月 07機械受注
(日本) 11月 鉱工業生産(確) / 設備稼働率
(日本) 日銀 展望レポート
(日本) 日銀 金融政策会合
(日本) 黒田日銀総裁会見
(アジア) 12月 NZ クレジットカード支出合計
(アジア) 12月 タイ 自動車販売台数
(アジア) 12月 マレーシア 貿易収支
(アジア) 休場 台湾
(欧州) 11月 ユーロ圏 建設業生産高
(欧州) 11月 英 住宅価格指数
(欧州) 12月 ユーロ圏 CPI(確)
(欧州) 12月 ユーロ圏 EU27加盟国新車登録台数
(欧州) 12月 英 CPI / PPI / 小売物価指数
(欧州) 1月 英 CBI楽観指数
(米国) 11月 企業在庫
(米国) 12月 小売売上高 / PPI
(米国) 12月 鉱工業生産 / 製造業 / 設備稼働率
(米国) 1月 NAHB住宅市場指数
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演
(米国) ベージュブック
(米国) ホスティック・アトランタ連銀総裁講演
(米国) 国債入札(20Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。